

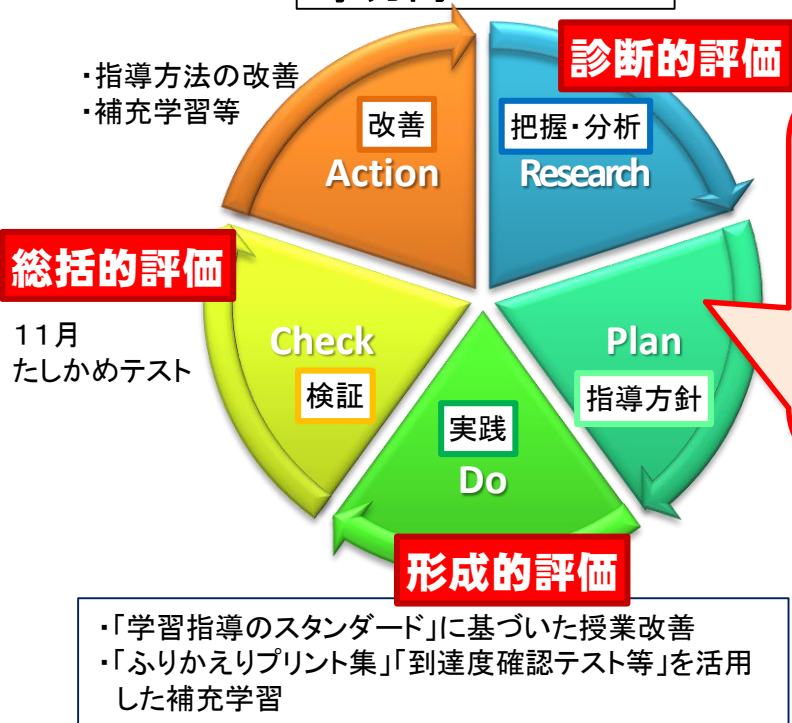
年度初めにおける学力向上担当の役割

これまで各市町村・各学校で推進されてきた学力向上の取組を更に重点化し、組織的な体制整備と各校の課題に応じた効果的な取組を一層推進するため、今年度「学力向上担当」を校務分掌に位置付けることを働きかけてきました。

既に、各校におかれましては、4月19日に実施された全国及び県の学力・学習状況調査を終えて、自校採点に取り組み、児童生徒一人一人の課題やつまずきを把握するなどの取組を開始していると聞いています。

そこで、5月の連休明けのこの時期に、学力向上担当者として児童生徒のつまずきの解消に向けて、全教職員に1学期中に徹底して取り組むべきことを明確に提示しましょう。

学力向上RPDCA



4月 学力調査等

**学力向上担当の皆さん、
出番です！！**

- 管理職と相談の上、学校として**徹底すること**を**明確**にします。
- 全教職員で**徹底して取り組む方策**を提案します。

例えば、こんな時には・・・

□ 連休明けの授業再開に当たり、落ち着いた学習環境を構築すべく**「学習規律」の指導の徹底**を図りたい。

- 年度当初に決めた学習規律の再確認と指導を徹底するには・・・

□ 家庭との密接な連携を進めることで**正しい「生活習慣」の確立**を図りたい。

- 「プラスマイナス15分」の取組を促進するに当たって・・・
- 家庭学習＝「宿題＋自主学習」を全教職員に共通理解させるには・・・

▶▶ 「学習指導のスタンダード」「家庭学習のスタンダード」などを効果的に活用

□ つまずきの解消を目指して**「個に応じた指導」**ができる体制を確立したい。

▶▶ 「分析支援ツール」「ふりかえりプリント集」などを積極的に活用



岡山県マスコット「ももっち」